



令和8年5月15日 第905号

一般財団法人日本遺族会 千代田区千代田一丁目六番五号 九段会館テラス四階 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 編集 重井敦 発行 重井敦 毎月1回15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

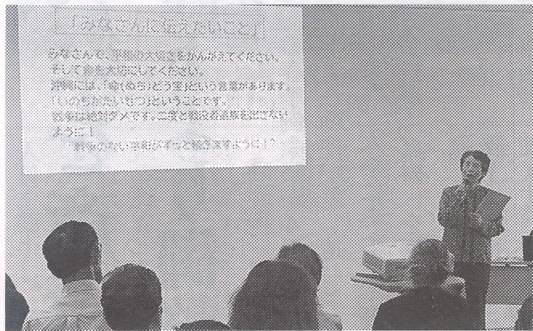
# 昭和100年企画 朗読劇と事後学習座談会開催 全国でも今夏に向けて

日本遺族会は昭和100年企画として全国47都道府県で「昭和の日」関連イベントを開催する。本部は4月29日(水・祝)に朗読劇と事後学習座談会を実施。当日は他7支部で朗読劇等の記念企画が開催され、遺族会が取り組む記憶の継承「語り部」事業の重要性が大きいと報道された。内閣府のSNSにアップされるなど注目を集めた様子を伝えたい。

令和8年に昭和元年から起算して満100年を迎えることから、国は官民をあげた「昭和100年施策」に取組んでいる。主な施策3つの1つ「昭和を顧み、学び、未来を切り拓いていく施策」の取組例「語り部事業」が取り上げられている。そこで、47都道府県で「昭和の日」関連イベントを提案し、8月にかけて



首都圏の遺児・次世代による朗読劇 = 4月29日、九段会館テラスで



劇に込めた思いを語る佐賀県遺族会西田富子会長 = 4月29日、九段会館テラスで

て全国で開催される予定である。第一弾として4月29日昭和の日本部は朗読劇と振り返り事後学習座談会を開催した。朗読劇は語り部事業に戸惑う青年部と共に活動できるものとして佐賀県で考案され、当初県内で遺児・次世代により上演された。劇を視聴した本部は普及したいと昨年の語り部全国大会、ブロック町遺族会相談役・木下路

也氏(遺児)、母親役に茨城県遺族連合会常務理事・市吉澤登志江氏(遺児)、長男利勝役に神奈川県遺族会青年部・有泉圭吾氏(孫)、長男の嫁文子役に千葉県遺族会事務局長・星野咲代氏(孫)、妹の幸子役に神奈川県遺族会青年部・山崎充代氏(孫)、ナレーター役に東京都遺族連合会青年部副部長・山中理恵子氏(孫)の思いが込められたセリフに会場は静まり返った。

伝えたいと書き上げた。学校講話も含め佐賀県下に広がり、遺族会の活動が広く認められ、県庁が「平和への想いを未来につなぐ事業」を創設。今後5カ年で遺族会の記憶

## 令和7年度 平和の語り部 事業実施報告

令和7年度の平和の語り部事業の実績について報告したい。令和7年度全国での実施回数は1981回、うち学校等(学童クラブ・公民館等)の児童・生徒向け企画を含む)での実施回数は808回を数え、聴講者数は13万796人となった。特筆すべきは、学校等での実施が前年度比4倍増となったことである。要因は大きく2つと推測される。

上演出、制作者である西田富子佐賀県遺族会会長より解説がなされた。冒頭、母の服を着て、父母に届くように願いを込めてきたと語った西田氏は、1カ月の結婚生活後、出征、ミヤンマーで戦死された父と母を思い制作したと明かした。僅かな結婚生活で託された命のバトン、その尊さを

継承事業を補助する。2月には第一弾として中学生による遺構視察と朗読劇、座談会が実施され、参加した生徒から朗読劇への参加が疑似体験となり、より理解が深まったとの感想が紹介された。

## 遺族会の語り部の貴重性

戦後生まれが国民の9割となる今日、体験者である遺族の記憶そのものが貴重であり、生きた教科書だということ。②次世代と共に 永続的な実施を目指し、次世代と共に活動していることが記憶の継承に繋がっていること。

③多世代間の学び 何より講話+対話+体験型など多様な形態が、体験者、次世代、児童・生徒共々が共に学びあう多世代間による学びに繋がっている。年度中盤から少人数での車座の講話+座談会の希望が増えたことが物語っている。より伝わる内容を模索した各支部の語り部、支えた事務局に感謝したい。

戦地からの手紙)を見せることも児童生徒の理解を促すなど、活発な意見交換がなされた。当日は7支部(秋田県、福井県、新潟県、鳥取県、山口県、徳島県、大分県)でも記念企画が開催され、テレビ、新聞で大きく取り上げられた。

## 本会関係者に 栄えある受章 春の叙勲

政府は、令和8年春の叙勲及び褒章受章者を発表した。栄誉に輝いた本会関係者は、次の方々である。

- ▼旭日単光章 大場 盛子氏(85歳) 日本遺族会評議員、福島県遺族会副会長
- ▼旭日単光章 宮内 欣也氏(85歳) 日本遺族会元評議員、福井県遺族連合会前会長
- ▼旭日単光章 武山 茂活氏(90歳) 日本遺族会元理事、岐阜県遺族会前会長
- ▼旭日単光章 服部 恵伊子氏(81歳) 和歌山県遺族連合会副会長兼女性部長

反戦をテーマに創りだされた芸術作品は美術、音楽、文学、映像と多岐にわたるが、そのメッセージ性を直接視覚に訴えるのは絵画ではないだろうか。ピカソのスペイン内戦の犠牲を描いた「ゲルニカ」が最も象徴的だが、現代アートではパレスチナ・ガザ地区の壁に描かれているストリートアートのバンクシーの作品もそうだ。昭和17年のガダルカナル島では、圧倒的な兵力を要する敵軍に対し、日本軍は銃剣を抱えて斬り込んでいく玉碎戦法を展開した。都内の竹橋にある東京国立近代美術館には、この白兵戦を描いた藤田嗣治の油彩画「血戦ガダルカナル」が展示されている。作品が制作されたのは昭和19年の戦時中なので、正確には反戦画ではなく、戦争画である。当時は軍部の要請によって多くの画家が戦意高揚を目的とした戦争画を描いたようだが、藤田もその一人だったのだから。しかし、この「血戦ガダルカナル」は、敵味方が入り乱れて殺し合う地獄絵図であり、戦場という極限状態で命を落としていった人間の圧倒的な絶望が心に迫ってきて、戦意高揚という枠には到底収まらない。紛れもなく反戦画といえる。戦争というものの本質を捉え、戦時中に描かれた画を直視し、戦場で命を落とした方たちの無念を忘れないよう、自らを戒めていきたい。(S)

### 靖國神社

# みたままつり 献灯のご案内

靖國神社みたままつりが、7月13日から16日までの4日間賑々しく執り行われます。ご遺族・崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

**献灯初穂料** ○小型献灯 1灯につき5千円 ○大型献灯 1灯につき2万円

[お申し込み・お問い合わせ] 靖國神社事務所 献灯係 〒102-8246 東京都千代田区九段北 3-1-1 電話:03-3261-8326(代表) FAX:03-3261-8320(直通)

### 靖国神社

# 春季例大祭を斎行

## 天皇陛下より御幣帛が奉納

靖国神社で重要な祭典の一つである春季例大祭が4月21日から23日までの3日間で斎行された。22日の当日祭には天皇陛下より勅使が差し遣わされ、陛下からの供え物(幣帛)が奉られ、御祭文が奏上された。また、大祭にあたり、高市早苗内閣総理大臣、衆参両院議長、水落敏栄日本遺族会会長が「真神」を奉納した。

靖国神社春季例大祭は4月21日、当日祭に先立ち、神職、そして祭儀に用いられる諸具すべてを祓い清める「清祓」が始まり、翌22日には「当

日祭」が斎行された。22日午前10時、崇敬者総代など約500人が参列し、大塚海夫宮司が祝詞を奏上した。10時30分頃には、天皇陛下より遣わされた勅使・十時和孝掌典が随員を従えて本殿に昇殿。天皇陛下よりの幣帛を大塚宮司が神前に奉り、勅使が御祭文を奉り、玉串を奉奠して拝礼した。



本殿に参進する天皇陛下から遣わされた勅使 = 4月22日、靖国神社で

国護国神社社会会長、中山恭子靖国神社崇敬奉賛会会長らが本殿に進み、玉串を奉り拝礼した。城内実経済再生大臣、自民党の有村治子総務会長、小林鷹之政調会長、彬子女王殿下が当日祭に、翌日には瑤子女王殿下が参拝された。高市総理、衆参両議長、上野賢一郎厚生労働大臣は例大祭に合わせ「真神」を奉納した。大祭期間中の高市総理の参拝は見送られ、有村総務会長が総理に代わって、党総裁としての玉串料を奉納した。

勅使退下後、国学院大 学混声合唱団が「鎮魂頌」、「靖国神社の歌」を奉唱。大塚宮司に続き、水落本会会長、神社本庁 総統理(代理)小佐野正史常務理事、泉和慶全

### 平和の語り部

## 大幅拡充強化

### 令和8年度政府予算成立

4月7日、令和8年度政府予算が参議院本会議で成立した。一般会計の総額は過去最大の122.3兆円となった。衆議院解散による審議の遅れ、参議院における与党が過半数に届かない「ねじれ国会」により、平成27年以来11年ぶりに予算成立が年度をまたぐことになった。本会関係では、最重要事項であった「平和

の語り部事業」に令和7年度補正・8年度本予算をあわせ約2.6億円が計上され、令和7年度予算からは約2.6倍の大幅増額となった。令和8年度は、予算に見合った語り部の実施回数や全国で2500回とされており、特に学校から依頼された語り部講話を確実に実施することが求められる。

**本会事業**  
参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報)の保護法に定められた「個人情報保護法」の趣旨に則り、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

この他、戦没者遺骨収集、民間建立慰霊碑の移設、昭和館事業等、本会の重要事項は概ね予算化された。

## 靖国神社に143人が参拝

### みんなで参拝国会議員の会

超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、4月22日午前、靖国神社春季例大祭に合わせて集団参拝した。参拝したのは、自民党、日本維新の会、国民民主党、参政党など

の衆参両院議員143人(本人126人、代理人17人)で、昨秋の例大祭の参拝者数90人から大きく増加した。これは、自民党が先の衆議院選挙で圧勝したこと、同議連への加入者が増えたこ



昇殿参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」 = 4月22日、靖国神社で

とが要因と考えられる。同議員連盟の逢沢一郎衆議院議員は参拝後の記者会見で、本会が推進する平和の語り部事業に「戦争の記憶が風化されないよう、戦争体験者が自身のことを戦争を知らない児童、生徒に直接語りかけていくことは大切であり、議連として

も事業をしっかりとサポートしたい」と述べた。また、今年2月の第51回衆議院選で初当選した本会青年部副部長の西山尚利議員(福島県遺族会青年部長)は、国会議員として初めての参拝を終えて、「改めて日本を守っていることに感謝の念をお伝えし、

### みんなで参拝

#### 衆参両院議員

令和8年4月22日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した126人の衆参議員(本人)は次のとおり。  
(党派別、敬称略) 逢沢一郎(自由民主党)、逢沢一郎(秋葉賢也、浅田真澄、青山周平、石井拓、石川昭政、石橋林太郎、石原正敬、井上信治、井林辰憲、石坂太、稲葉大輔、上原正裕、上野宏史、衛藤博昭、江藤拓、大串正樹、小里泰弘、尾花英仁、金澤結衣、川崎ひとと、

河野正美、加藤勝信、加藤大博、加藤竜祥、川松真一朗、熊田裕通、栗原涉、黒崎祐一、こうらい啓一郎、坂本竜太郎、繁本護、新谷正義、鈴木淳司、鈴木貴子、関芳弘、瀬戸隆一、高島修一、高橋祐介、田村憲久、俵田祐児、高木啓、田畑裕明、土田慎、辻秀樹、津島淳、とかしきなおみ、富樫博之、中川こういち、長澤興祐、中谷真一、中野英幸、西山昭二、仁木博文、西山尚利、根本幸典、長谷川淳二、東田淳平、平沼正二郎、藤田誠、古井康介、藤沢忠盛、古川康、古屋圭司、細田健一、堀内詔子、宮下一郎、三ツ林裕巳、村木汀、武藤容治、築和生、山田基靖、山本左近、山本裕三、保岡宏武、山下史守朗、山田美樹、山本大地、吉村悠、米内紘正、若林健太、渡辺勝幸

【日本維新の会】東徹、一谷勇一郎、奥下剛光、黒田征樹、原山大亮、三木圭恵  
【国民民主党】高沢一基、鍋島勢理、西岡義高、向山好一、村岡敏英  
【参政党】工藤聖子、島村かおる、豊田真由子、吉川里奈、和田政宗  
【無所属】河村たかし  
▼参議院  
【自由民主党】有村治子、磯崎仁彦、いんどう周作、江島潔、加藤明良、鈴木宗男、滝波宏文、中曽根弘文、中西祐介、西田昌福、山守、舞立昇治、松村祥史、宮本周司、山谷えり子、山本佐知子  
【日本維新の会】青島健太、石井苗子、岡崎太、佐々木りえ、石平  
【参政党】梅村みずほ、神合宗賢、松田学  
【無所属】齊藤健一郎

## 語り部事業推進委員会

### 新ブロックアドバイザーを統合

令和6年度の語り部事業立ち上げに際し、本部提案の事業計画等に助言する本部語り部事業推進委員会(以後、推進委員会)と各支部へ助言をするブロックアドバイザーを委嘱した。  
令和8年3月末に2年の任期が終了となり、運用方法が類似していることから統合し、新たに委嘱した。

◎新平和の語り部ブロックアドバイザー  
全国で語り部事業を推進するため、活発な支部を代表し各地域の事情に合わせた実施方法等の助言を行う。より実践的な(講話型、対話型、体験型)の内容の指導育成に努める。

【委員長】 安齋満氏  
【本部副会長、福島県遺族会会長、遺児】  
◎第2B 福居一夫氏  
(埼玉県遺族連合会副会長)  
◎第3B 荒堀修一氏  
(兵庫県遺族会副会長兼青年部長)  
◎第4B 黒川真介氏  
(高知県遺族会青年部長)  
◎第5B 山下義明氏  
(熊本県遺族連合会副理事長兼青年部長)  
【事務局長3人】  
◎第1B 田口昭益氏  
(本会事務局長協議会幹事、秋田県遺族連合会)  
◎第2B 久保秀義氏  
(東京都遺族連合会)  
◎第5B 鎌田伸次氏  
(宮城県遺族連合会)

## 日本遺族通信

### 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円(1年間12回 税金・送料込)  
お申込み  
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

第14回語り部定期講話会

「泰緬鉄道」から考える

これからの慰霊と継承活動

戦争体験者の遺族と次世代が共に記憶の伝承に取組む本部主催第14回定期講話会のテーマは「泰緬鉄道」。今回より昭和100年企画として更に多様なテーマを取上げるべく初めて外部講師を招いた。本部はミャンマー遺児友好親善事業を報告。報道機関による取材を受けた。他団体との交流により新たな視点が生まれた講話会を伝えたい。

4月11日に開催された第14回定期講話会では冒頭本部よりミャンマー慰霊友好親善訪問団の報告。令和7年度で惜しまれながら終了した本事業の意義と、訪問をきっかけに寄贈した小学校の現状を伝えた。その上で「慰霊に終わりは無い」とする遺児の思いと次世代への記憶の継承、国際親善を継続したいとの参加者の思いを伝え、6月の定期講話会で報告会を行うことが明かされた。



初の外部講師を招き、泰緬鉄道建設の歴史や慰霊の講話を聴講=4月11日、九段会館テラスで

講話では、C5631号は日本で製造され、当初石川県七尾機関区へ配属され、昭和16年12月開戦に伴いタイへ軍事供出。18年泰緬鉄道開通式の記念車両となり、戦後タイ国鉄へ編入され、52年に廃車となったが戦友会がタイ国鉄より購入し、54年靖国神社へ奉納されたことが語られ、同鉄道建設の経緯、現状が説明された。

71柱の遺骨が送還 硫黄島、マリアナ諸島から

日本戦没者遺骨収集推進協会は、硫黄島及びマリアナ諸島の戦没者遺骨収集団を派遣し、硫黄島で14柱、マリアナ諸島で57柱を送還した。千鳥ヶ淵戦没者墓苑で合同の遺骨引渡式が挙行され、長坂康正厚生労働副大臣をはじめ遺族代表、国会議員、関係団体代表等が見守る中、派遣団員から厚生労働省職員へ遺骨が引き渡された。

硫黄島は昨年9月の噴火により島内施設が被災して燃料パイプライン等に支障が生じていることから派遣が中断されていたが、派遣日数の短縮、人員を縮小し、3月2日

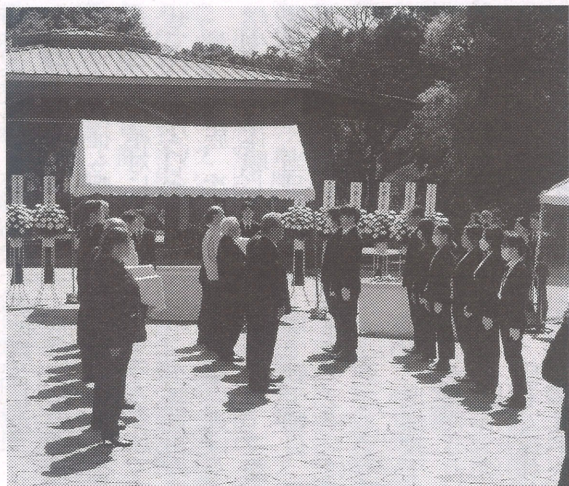


マリアナ諸島の戦没者遺骨を焼骨する団員=3月9日、サイパン島バナデル飛行場跡で

から3月12日の期間で、硫黄島戦没者遺骨収集派遣(第4次)を実施し、本会から関係遺族1人が参加協力した。

マリアナ諸島 遺骨収集派遣は、2月24日

マリアナ諸島戦没者遺骨収集派遣は、2月24日から3月12日の期間で実施され、本会から関係遺族2人が参加協力した。派遣団は、テニアン島北部から1柱を収容した。この他、令和7年



硫黄島及びマリアナ諸島の戦没者遺骨引渡式=3月12日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

今回の派遣では、平成30年度から令和元年度にかけてテニアン島のマルボ、カロリナス、カステイブ、マサロク地域で収容し、サイパン遺骨保管安



報道関係者も参加した体験者・次世代・学生の座談会=4月11日、九段会館テラスで

骨収集団からの継続である現在の滑走路の北側の地表遺骨を中心に収容にあたった。団員全員がすべて手作業で地表にある土砂を丁寧に取り除き、細心の注意を払って遺骨の発見に努めた結果、硫黄島中央部地表から9柱、北部地表から1柱を収容した。この他、令和7年

度安置されていた4柱を含む14柱の遺骨を送還した。マリアナ諸島 遺骨収集派遣は、2月24日から3月12日の期間で実施され、本会から関係遺族2人が参加協力した。派遣団は、テニアン島北部から1柱を収容した。この他、令和7年

世代。重い責任を感じた。次世代がいかに遺児の記憶を継承できるか。意識を共有するにはどうすればいいか。講師を務めた林氏は「思いを共有できる仲間を増やすことが大切」と述べ、参加した同会会員の報道関係者より「もっとと真実を伝えたい。故に歴史を学び続けたい」と発言が聞かれた。今後も志を同じくする他団体との交流を深めたい。

日本遺族会への 賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。なお、賛助者の都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。省略します。

- 賛助者名(敬称略) 横山則義、岡野淑子、北村禮三、宮田喜美子、古川史、千田和子、大川勝也、古賀清治、若林甚一、井坂明弘、小森園和美、明星晋、轟木保子、尾崎正道、廣木正勝、十二重樹、松岡俊彦、松岡和子、日野東亜子、小川勉、澁谷智恵子、保木登茂子、西茂俊明、田口晃子、池田良美、増田幹男、松浦友一、松垣治子、久

ミャンマー小学校 修繕募金のお礼

日本遺族会がミャンマーの現地に寄贈した小学校3校の老朽化が進んでいることから、その修繕費用を集めるために開設した「ミャンマー小学校修繕募金」にご賛同いただいた左記の方々にご心よりお礼申し上げます。 賛助者名(敬称略) 石崎弘子、ハラダアキラ、木村亜湖、中川允子、梅本潤子、三好セイコ、ナガサコテツオ(以上、4月1日から4月末日

日本遺族会への 賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただけますようお願い申し上げます。

- 郵便振替 001302694929
- みずほ銀行 九段支店 普通預金 0080000000

